

# PICK UP グループ全体で取り組む「4つの安全」

## 4つの安全とは

4つの安全とは、当社独自の概念で、労働安全、環境安全、品質安全、設備安全のそれぞれに分類される安全活動を渾然一体となって有機的に絡め合い実施するものです。また、グローバル化を進めるべく、適用範囲を海外拠点にも拡大した「4つの安全グローバル規程」の運用を2020年4月から開始しました。

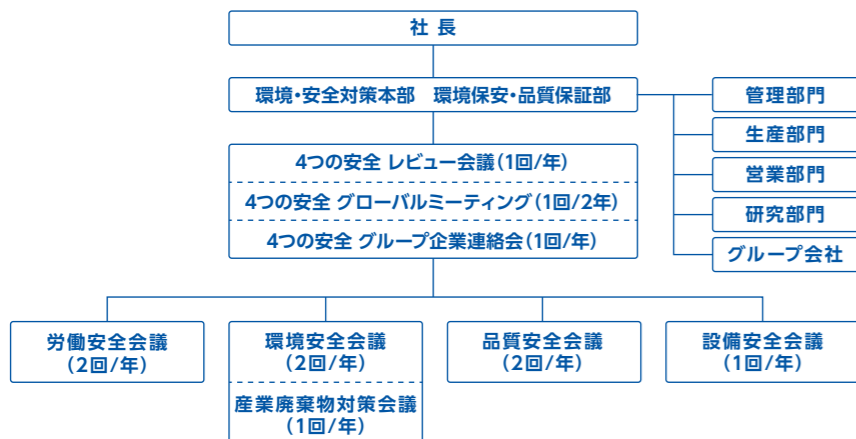
4つの安全は基本原理に基づいて推進され、PDCA（計画、実行、評価、改善）サイクルを用いた継続的な改善によりレベルの向上を目指します。具体的には年度初めに環境・安全対策本部で関係部署と確認のうえ、本部方針と具体的方策を設定。各部署は本部方針・方策に基づき年度計画を策定し実行。実行状況は監査や改善事例発表会で確認し、年度末実施の「4つの安全レビュー会議」「4つの安全グループ企業連絡会」でレビューし、さらなる改善内容を取り入れた次年度の本部方針と具体的方策を策定しています。



## 基本原理

- |              |                  |
|--------------|------------------|
| 1. リーダーシップ   | 5. ライフサイクルの分析・評価 |
| 2. 法令・ルール遵守  | 6. サプライチェーンの俯瞰   |
| 3. 5Sの推進     | 7. 持続可能な社会形成への貢献 |
| 4. コミュニケーション | 8. 新規技術への挑戦      |

## 4つの安全推進体制



## Topics 2019年度Good Risk Sense Award 受賞

「4つの安全活動を基本に事業継続マネジメントシステムの実践、そして相馬工場創業以来の無事故の継続」が認められ、リスクセンス研究会が毎年表彰を行っている2019年度「Good Risk Sense Award、化学工業日報社賞」を受賞しました。

## Plan

### 2020年度 環境・安全対策本部方針

4つの安全(労働・環境・品質・設備)をグローバルで推進し、4つの安全に関するゼロ\*を達成する。持続可能な社会の実現のためグローバル企業として社会貢献する。

\*労働災害ゼロ、環境事故ゼロ、品質クレーム・製品事故ゼロ、設備重大故障ゼロをさす。

## Do

### 2020年度本部方策に基づく実行

- ① 安全文化の醸成  
「5S」活動・ヒヤリハット活動等の推進
- ② 安全基盤の強化
  - ・安全体感映像教育の実施
  - ・「基本行動集\*」の改訂、周知
  - ・品質データ改ざん防止の仕組み「製品検査記録管理基準」の遵守
  - ・新規化学物質管理システムの運用開始
  - ・納入仕様書管理システムの運用開始(化学品)
  - ・品質情報管理システムの導入準備(食品)
  - ・食品衛生法 食品用器具および容器包装のポジティブリスト制度への対応(猶予期限:2025年5月)
  - ・設備安全会議の初開催(各事業所の管理情報の共有化)

\*工場・研究作業での安全管理のための基本行動を写真で分かりやすく纏めたもの。2021年4月時点で44例を収載。

## Check

### 4つの安全に関する監査・改善事例発表会

- ① 安全文化に関する監査(環境・安全対策本部監査/10~12月実施)  
事業所トップの「4つの安全」に対する考えと組織風土、事業所トップの考えの現場への浸透、現場の5Sの確認
- ② 安全基盤に関する監査(PL監査・貿易管理監査・RSPO監査/10~12月実施)  
「4つの安全チェックシート」に基づき、品質安全におけるルールの遵守状況等を確認
- ③ 4つの安全改善事例発表会(12月)  
12チーム(海外3チーム)で4つの安全活動の模範事例を共有(2020年度)

## Action

### 各事業所の実施結果に基づく次年度の方針・方策策定

- ① 4つの安全レビュー会議(2月)
- ② 4つの安全グループ企業連絡会(2月)



菅谷 潤  
参与 環境・安全対策本部長

### カーボンニュートラルに向け「4つの安全」の環境課題施策を強化

当社は、独自の環境・安全概念「4つの安全」を基盤とし、ADEKAグループ総力により安定生産および品質の向上に努めてまいりました。さらに、全世界の課題であるカーボンニュートラルに向けて、環境課題施策を強化した「4つの安全」を推進、グローバル会議等啓発活動を通じ、海外生産拠点での定着化を図ってまいります。お客様に満足いただける製品供給と環境対応による社会貢献を通じ、ますます世界に必要とされる企業を目指します。